

(様式1)

自己評価票

作成日 平成 21 年 11 月 25 日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	0870101573		
法人名	医療法人社団 正信会		
事業所名	グループホーム むくげ	ユニット名	東
所在地	〒310-0852 水戸市笠原町358-2		
自己評価作成日	平成21年11月20日	評価結果 市町村受理日	平成 年 月 日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報 リンク先URL	
-----------------	--

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	社会福祉法人茨城県社会福祉協議会
所在地	〒310-8586 水戸市千波町1918番地 茨城県総合福祉会館内
訪問調査日	平成 年 月 日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

<p>当事業所ではゆったりとマイペースで暮らしていけるような家庭的な雰囲気作りに努めています。御自分の思いや心配事など何でも気を使わずに話せるような、場所にしたいと思っています。また毎日の食事は管理栄養士が立てた献立で新鮮な食材を使い手作りで、温かい食事を召し上がって頂けるよう努めています。健康管理に於いては経営母体が病院なので24時間緊急対応や日常の相談、受診を随時行うことができます。</p>

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

--

自己評価	外部評価	項 目	自 己 評 価
			実 施 状 況
I 理念に基づく運営			
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	事業所の理念のみを掲示していたが、地域密着サービスの理念の意義をもとにつくりあげ並べて掲示している。また目につくところ各所に掲示し共有できるようにしている。
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	行事の時には参加の声かけをし隣近所とは交流ができて来ている。不参加の時には様子を話しながらお弁当を届けている。運営委員さんの計らいで敬老会にも参加できた花苗の配布はボランティアをしている職員の縁で何年か配布されている。
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	実習生の受け入れを行った。
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	外部評価結果を議題にし推進会議を行い改善項目の今後の計画や相談を行いできることから始めている。
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	運営推進会議の時や支援センターの職員さんに接する機会のあるときに相談したり指導を受けている。
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	拘束の内容の意味を理解できるようミーティングのときや日常的に介護状況を随時確認しあい防止に努めている。
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	管理者や職員は虐待にあたることの意味を理解し防止するようミーティングの時に話し合ったり普段から気を配り防止している。

自己評価	外部評価	項目	自己評価
			実施状況
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	現在後見人の問題を抱えている家族には相談や情報の提供を支援している。
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時には説明をしながら契約書や重要説明書を読み上げ質問があればその都度説明し納得や理解をしてもらっている。
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	介護相談員の派遣受け入れや面会時の家族との会話の中などから意見要望を聞きだすようにしている。入居者さんにとっては普段から話しやすい雰囲気を作るようにしたり態度や表情から察することが出来るよう努めている
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	関連事業所の全体会議で運営者は意見を聞く機会を設けている。管理者はミーティング時や日常的にコミュニケーションを図り話し易い関係になれるよう努めている。意見は機会を設け相談しながら反映出来るようにしている。
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員の意見や要望はグループホーム全体を取りまとめる統括室長が把握に努め代表者に伝えている。
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	同事業所系列内での研修をしている。他所よりの研修のお知らせは見えるところに掲示し参加を呼びかけている。研修会の資料は見られるよう出しておいたり回覧している。
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	他事業者のグループホームと行事の際に交流を図り話し合いを行いその後の参考に生かしている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価
			実施状況
Ⅱ 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	本人、医師の診療情報や家族からの情報を元に思いや置かれている状況など理解し把握するようにし職員で共有できるよう努めている。
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	電話での相談、見学、契約時には納得がいくように事業所の内容や雰囲気など説明し安心して頂ける様努めている。
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	空き室がない時は同事業所に連絡したり系列の施設に問い合わせを行っている。
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	全員が女性ということもあり、食事やお茶を共にしながら賑やかに過ごしている。職員が困っていることや手伝いをお願いしたりして家族のような関係を築いている。
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	来訪時や電話時には様子を伝えたり相談を受けたりし出来る限り安心感を得られるよう努めている。遠方の家族よりの電話には本人の声を聞かせている。昼食時の来訪には居室で一緒に召し上がって頂いている。
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	友人や親戚などの電話の取次ぎや来訪の際の面会時には本人との関係が途切れないよう過ごしやすい雰囲気を作っている。お茶やお菓子などお持ちしている。
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	仲の良い入居者同士は居室を行き来しているのでトラブルのないよう見守っている。工作など共同作業を通じて関わり合えるよう努めている。手伝いの量なども公平になるよう仲介している。

自己評価	外部評価	項目	自己評価
			実施状況
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	入院の為の退所の場合には機会がある毎に様子を見に行ったり面会の無い家族には電話で様子を伝えたり相談に乗ったりしている。
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	思いを伝えられない入居者さんには日常生活の中の会話や表情の中から思いをくみ取るようにしている。出来る範囲で叶うよう努めている。個人で思いを伝えられる場合は本人本位に対応している。
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入所時に家族に聞いたり入所後に本人に聞くなどして職員同士が共有できるよう個人記録に記入しケアに行かしている。
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一日の生活の様子の中での行動や会話の中での力量や思いを把握しケアにいかしている。
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	関わりのある職員で普段から話し合い、介護計画作成やモニタリングを行っている。本人家族から聞き取ることができる時は反映している。
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	毎日個人記録に生活の様子や健康状態など記入しているほか水分、食事量の記録をしケアにいかしている。
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	衣類や嗜好品の購入、保険料の納入など家族の支援が困難な入居者様に対応している。緊急受診の際は家族が対応困難の時には車の手配、付き添いなどを行っている。その後に経過を電話で報告し病院の指示など伝えている。介護認定更新手続きの支援をしている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価
			実施状況
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	民生委員が推進委員となっており会議の際に意見交換をしたりして情報を得ている。また、働きかけをお願いしたりしている。
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入所時に説明をし、かかりつけ医希望を聞いている。事業所の経営母体は医療法人であり24時間対応出来家族同行が不可能な場合は職員が同行していく。
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	経営母体の病院の看護師に外来時や電話で相談したりアドバイスをもらい活かしている。
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時には入院先に様子を文書で即連絡している。入院中は随時様子を見に行き家族に経過を電話で伝えたり看護師から状況を聞いて退院予測を職員に伝えている。直接医師に聞くことの出来るような雰囲気も出来ている。
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入所時に当ホームで介護困難となった場合のことを相談されたりした場合は事業所系列の病院施設の選択肢のあることやホームで対応して来たこれまでの経過などを伝えている。
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	赤十字社を招いて救命救急法を習得したりミーティングの時などに話しをしている。緊急時の対応にはマニュアルにより対応している
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	消防署にお願いし避難訓練、消火器の使い方などを定期的に行っている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価
			実施状況
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	管理者は随時職員に対し関わり方に注意をしたり説明指導をして意識向上を図っている。問題が見られた時はミーティングの時に話し合っている。
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	一人一人のペースに合わせ急がせないように努めている。意思表示の出来ない入居者には表情や態度をみて一方的に押し付けることのないようにしている。希望を手紙にしたためて渡して下さる入居者さんもいる。
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	日課は決められているが体調や気分によって部屋食にしたり起床時間を遅らせたり柔軟に対応している。買い物や決められた物以外のおやつ希望など出来る限り対応しながら支援している
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	月1回の訪問カット時は好みの髪型にしてもらう。基礎化粧品や口紅眉墨など銘銘に使っておられ品切れになった時は買い物依頼を引き受けている。着替え時のアドバイスもしているが本人の好みを優先している
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事後の下膳や厨房への容器返しのほか献立書きなど力量に応じて手伝っている。食事の好き嫌いを把握し代替の品をだしている。
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一人ひとりの摂取量を見極め毎日の水分、食事の摂取量を記録し健康管理に活かしている。
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食事前のうがいや食後の歯磨き義歯洗浄は力量に応じて誘導や声かけ準備などして毎日行っている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価
			実施状況
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	意思表示の出来ない入居者さんには行動や態度をみて誘導したり排泄表を参考にしてトイレでの排泄が出来るよう支援している。
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排便管理表に毎日自己申告で記録をしている。記憶困難な入居者さんには排泄時に様子をうかがったり入浴時などにパンツ汚れの様子をみたりし確認している。便秘の時は個々の処方薬や館内歩行水分摂取など勧め解消に努めている。
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	ゆっくりつかりたい、順番をずらしたい、などの希望がある入居者さんには希望どうりに入浴していただく。入浴拒否のときには言葉かけを工夫したり間をおいて声かけするなどしている。
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	昼の休憩時間を設けて声かけしている。室温や騒音に配慮し必ず見回りは行っている。
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	処方箋は個人記録にファイルしている。処方方の都度確認し分からない時は薬局や病院に相談しながら支援している。処方変更時には様子観察を行い医師に報告している。
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	生活歴や好きなこと得意なことなどをいかして手伝いや趣味の編み物園芸などで気分転換の支援している。外出の好きな入居者さんには近くの店に出かけている。
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	計画を立て近隣のお店に出かけているので馴染みの店も出来て、好意的に接して下さるようになった。車椅子の入居者さんは隣の空地まで飲み物やおやつを持ち出かけている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価
			実施状況
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>買い物外食などの時は計算しながら選んだり支払いはお金を直接レジで払って頂いたりしている。買い物に行けない入居者さんには食べたい物や必要な物が無いか聞いて買いに行っている。</p>
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p>	<p>公衆電話を設置しており希望に応じかけられるようになっているが高齢の為施設の電話を使い呼び出したり取り次ぐ支援をしている。手紙を書くことが好きな入居者さんには便箋や封筒など買い物を頼まれたりポストへ投函をしている。</p>
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>自然の環境の中に立地しているので鳥の鳴き声や姿が見られます。騒音も聞こえずゆったりとした時間が流れています。木々の色の変化も分かります。季節ごとの行事には季節感のある献立が考えられています。</p>
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>玄関ホールの空きスペースや中庭に椅子を置いたりし自由に使えるようにしています。仲良しの入居者さん同士で居室や庭先で花をみながら話しをしていることもあります。</p>
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>自宅より洋服たんすや家族の写真、孫の描いた絵など持参し飾っています。</p>
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>館内は全てバリアフリーとなっておりトイレ浴室廊下にはてすりを取り付け安全の確保と自立への配慮をしている。</p>

V アウトカム項目		
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○ 1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3, 利用者の1/3くらいの 4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○ 1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3, たまにある 4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○ 1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3, 家族の1/3くらいと 4, ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○ 1, ほぼ毎日のように 2, 数日に1回程度ある 3, たまに 4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○ 1, 大いに増えている 2, 少しずつ増えている 3, あまり増えていない 4, 全くいない
66	職員は、生き生きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○ 1, ほぼ全ての職員が 2, 職員の2/3くらいが 3, 職員の1/3くらいが 4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○ 1, ほぼ全ての家族等が 2, 家族等の2/3くらいが 3, 家族等の1/3くらいが 4, ほとんどいない